

ぎやらりー



NO.111

2025 年 10 月



園芸 31 期花壇

編集・発行 NPO 法人グループわ (辻本 憲和) ホームページ <https://www.wa-net.jp/group-wa/>

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村 1 番 16 号 神戸市シルバーカレッジ内 TEL 078-743-8101 FAX 078-743-3830

特集：夏休み工作塾・KOBE シニア元気ポイント



8月3日、神戸市シルバーカレッジにて夏休み工作塾を開催し、グループわ ホームページにて募集した児童144人が楽しく工作に挑戦しました。

グループわ の会員とシルバーカレッジの学生ボランティアメンバーが、工作のサポートを行ない、子どもたちは普段使うことのない道具（金づち・のこぎり・電熱ペン）を使いながら、参加した子どもたちは共同作業を通じて、モノづくりの楽しさと貴重な時間体験することができました。

工作を通して世代間を超えた交流を行うことができたことは大きな喜びです。今後も工夫を重ねながら継続できるよう努めてまいります。



ボランティアの
輪をひろげよう

もくじ

■ 夏休み工作塾	 表紙	■ 部会活動紹介	 6
■ 夏休み工作塾	 2	■ 区会活動紹介	 7
■ 夏休み工作塾	 3	■ 学校支援活動	 7
■ 夏休み工作塾	 4	■ わだより・カレッジだより	 8
■ KOBE シニア元気ポイント	... 4	■ 編集後記	 8
■ 部会活動紹介	 5		

特集 1 夏休み工作塾 に参加して

◆ 木工グループ

くるま

松本 良昭

木工グループでは、子どもたちに木の温もりや香りを感じてもらい、簡単な工具を使って少し苦労しながらも満足いく自分の作品を作り、持ち帰ってもらうことを目指しました。



まずは、作りたい車をトラックやダンプカーなど5種類の中から選んでもらいます。つぎに選んだ車の材料を受け取り、木工グループ員が、1人1人につき、組み立て専用の席に着きます。

車は角材に、薄ベニア板をくぎ打ちして作りますが、まずはくぎ打ちの練習をします。

それから角材をのこぎりで切断し、普段使わない金づちとのこぎりに慣れてもらいながら仕上げ用の席で車を組み立てます。



仕上げには組み立てと同じグループ員の指導で、マジックインクで色付けし、最後にタイヤを取付けます。組み立て時間はあまり差がないですが、色付けには学年や性別の違いでかなりの時間差が出ました。

子どもたちのそれぞれの個性が出て、指導した私たちも楽しい時間を過ごせました。参加した子どもたちは、でき上がった車を動かし、大変うれしそうに持ち帰りました。

◆ むかしあそび研究会

折り染めうちわ

空 早苗

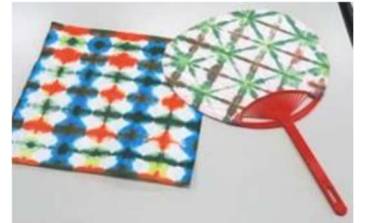
夏休みの恒例行事になっている工作塾に今年も「折染めのうちわづくり」で参加しました。

折染めのうちわづくりは、当会員が手伝って子どもたちが和紙を折り、染料で染め、乾燥し、うちわの骨に貼り付けて仕上げます。うちわの裏には染めた和紙をちぎり絵にしたりし



て、子どもたちに楽しんでもらいました。子どもが保護者の手助けなく、自分一人で作ってほしいので、特別に保護者席を設けています。完成したうちわを得意そうに保護者に見せていました。

例年、100名近い子どもがうちわづくりの体験をしていましたが、今年度は開催場所が変更したことが一因かもしれませんが、35名と大幅に減少しました。当会でも新しい作品制作を考えるなど、来年度の課題と認識しています。



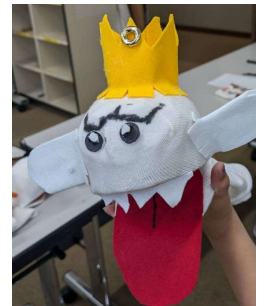
◆ 人形劇「ゆめのつづき」

パクパク人形づくり

高木 博史

人形劇を観てもらうだけでなく、子どもたちにも参加してもらえるものはないかということから始めたパクパク人形作り、夏休み工作塾への参加は今年で3年目になります。

今年は設備の整ったシルバーカレッジでの開催でした。夏休み工作塾には初めて参加する方、毎年来ていますという方など、子どもたちや保護者の方々に楽しんでもらえたと思います。定番のパンダ、ウサギ、ネコなどを作る子が多い中、ワンピースのルフィや口が横に開く怪獣を作りたいなどスタッフを困らせるようなリクエストもありましたがスマホで検索した画像とにらめっこ、何とか出来あがり楽しいひとときを過ごしました。



ただ、開催場所の認知度のためか参加者が例年より少なかったのが残念です。次回は開催案内に更なる工夫を加えれば、もっとたくさん子どもたちに参加してもらえるでしょう。知らんけど。



◆創エネ神戸

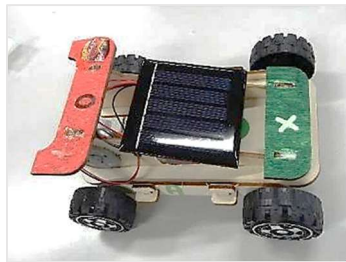
夏休み工作塾「ソーラーカーをつくろう！」

山田 通裕

創エネ神戸は活動の一つとして、工作教室、紙芝居、映画観賞会などを通じ、園児・小学生・中高生・大人の皆さんに地球温暖化について学んでいただく活動をしています。今年の夏休み工作塾では、「ソーラーカーをつくろう！」と題して、ソーラーカーの工作塾を開催しました。10時～12時、13時～15時の2回、合計37名の児童（小学4～6年生）が参加しました。

最初に、地球温暖化、二酸化炭素、太陽光発電、「わたしたちにできることエコチャレンジ」などについてパワーポイントにて説明しました。

その後、ソーラーカーの組み立て方をパワーポイントにて説明しながら、順次組み立てました。太陽の力でソーラーカーが意外に早く走ることに驚いた、また地球温暖化について学べてよかった、などの感想をいただきました。



◆工作名：オニヤンマ君

小山 博史

今年の「オニヤンマ君」は本部直轄の工作だったため、他のグループの参加を優先に考え、参加募集を控えめにしました。そのため、準備個数も多く準備しませんでした。昨年から「オニヤンマ君」づくりは、

人気が出て今年も作りたい子どもたちが多数いましたが、少数しか提供できませんでした。

オニヤンマ君を完成した子どもたちは、みんな喜んで帰途に



つき、中にはさっそく帽子や服にオニヤンマ君を付けて帰った子どももいました。

オニヤンマ君の制作については、ストローをメインに、目玉、羽根、胴体のシール等の材料を用意し、それらを組み立てるという、小学生低学年でも簡単にできるようにしています。

羽根の模様をマジックで書いてもらい、蛍光テープを貼る作業は、特に個性が表れて、おもしろい光景でした。

オニヤンマ君は虫除けとしての効果があるため、子どもたちだけでなく、保護者にも人気が高いので、来年も是非実施したいです。

◆花実の森

バーニングアート

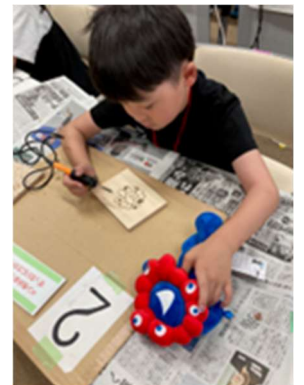
田路 義弘

バーニングアートとはどんなものかご存じですか？

電熱ペンを使って木材や他の素材に絵や模様を焼き付ける技法です。従って線の太さや、陰影、濃淡は焼き具合（焦げ具合）でバランスをとっていきます。

特に線を引く場合、電熱ペンで木の表面を焦がす事で線を書くため、焦げ具合を見ながら電熱ペンを動かしますが、慣れるまでが少し難しいです。

児童たちには、電熱ペンの動かし方等を実際に体験してから制作に入ります。



ら制作に入ります。

初めは手こずることもありますが、それでも最後には満足の出来栄に笑顔で終わり嬉しいことです。

また、小学校時代の思い出を、いつまでも身近に飾っていただきたいとの思いから、割り箸で作った「作品立て」や、里山・花実の森からのお土産として“どんぐりコマ”“小枝の作品”をお持ち帰りいただきました。

皆さんに大変喜んでいただきました。



◆ 絵画ボランティアグループ

ストーンアート

山本 昌昭

絵画ボランティアグループは、「夏休み工作塾」に本年初めて参加しました。前年までの記録や情報がクラブ内に全くない状態でしたので、準備も戸惑い状態でしたが、グループ内に美術・工芸専攻の卒業生がおられ、アドバイスもあってかなり助かりました。

ストーンアート（石ころアート）自体は、石ころを見て、その姿形から絵を描いてもよく、逆に描きたいものがある場合はそれに相応しい石ころを探しても良いのですが、いちばん戸惑ったのは、絵筆を握るとピタリと固まってしまう子どもが時々いて、



サポート側も困惑してしまっていたのですが、あーでもない、こーでもない、何度か石ころを変えて様子を見て行くうちに、突然、筆が進み始め、元々一人1個の予定だったのが、俄然、積極的に次々に何個も書き込んで行く姿を見て、その豹変ぶりに、こちらが驚かさ

れてしまい、絵画ボランティアグループのメンバーにとっても大変勉強になり有意義な時間となりました。

◆ ケナフの会

紙すき

吉谷 洋子

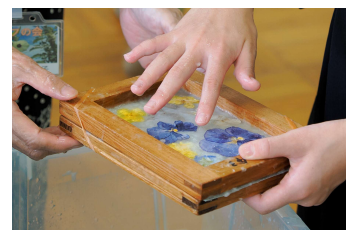
ケナフの会は、紙すきを通して子どもたちとの交流をおこなっています。

今年も工作塾に参加することになり、午前・午後各48名の受け入れ計画をたてていました。

昨今の異常気象により猛暑が続く中、35組の親子の方々が参加してくれました。

今回参加人数が予定より少なかったため、時間に余裕がありひと組ひと組話をしながら、楽しく子どもたちと共同作業ができて、充実したひとときでした。

私にとって、ひ孫の年齢層の子どもたちと出会える場所が、紙すき教室なのです。



特集2 KOBE シニア元気ポイント

「KOBEシニア元気ポイント」は、65歳以上の市民がフレイル予防を目的としてボランティア活動に参加し、その活動実績に応じてポイントが付与される制度です。貯まったポイントは現金と交換でき、健康づくりと社会参加を促進しています。シニア世代の地域へのさらなる参画と健康づくりの推進を目指して、10月から、ポイント付与の対象が、地域団体やNPOが実施する美化活動やこどもの居場所づくりなどの地域での活動へ拡充しました。

また、9月8日より、神戸市立幼稚園・小中学校での花壇の水やりや行事の手伝いなどの活動も対象となりました。

制度の一部改正によりさらに活動の幅が広がり、特にポイント付与の手続きがスマホでも手軽にできるようになりました。グループでは新しい制度に伴い、6月から順に会員の皆さまや現役学生を対象に説明・登録会を開催し、シニア元気ポイントの普及を推進しています。

神戸市民65歳以上の方対象 神戸市委託事業

KOBE シニア元気ポイント



6月18日 説明・登録会



9月9日 説明・登録



部会活動紹介（福祉・文化・環境・いきがい）

◆ 救急ボランティア OB 会（福祉部会）

平井 美知子

救急ボランティアOB会は現在会員数32名。救急インストラクターの資格保有者は「わ」や神戸市の催しで救護活動、中学校・高校・大学・福祉関係・会社・地域等で心肺蘇生やAEDの講習会講師として活動。



昨年、カレッジ内で倒れている傷病者に現役クラブ員3名が救命活動を行いました。現役生は心肺蘇生の必要性を感じ、学校の事務関係者や他のクラブに声を掛け、講習会を行っています。

これからも救急ボランティアOB会は年3回から4回定例会や総会を開催し、皆で心肺蘇生法の向上を目指し、そして会員相互の親睦をも図って行きます。

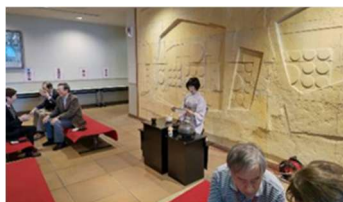
◆ KSC 茶道部同好会（文化部会）

五島 敬子

当同好会は、KSC茶道部の卒業生が在学中に培った茶道の技能を生かし、卒業後も稽古を続けながらボランティア活動を実践できるよう、2017年10月に発足しました。



発足から丸8年を迎えた現在は、毎年新しい会員を迎え、親睦を深めながら、介護施設や保育園、「グループわ」総会交歓会などでお茶会ボランティア活動を行っています。



現在会員数は17名で月に1回、第3水曜日にカレッジ和室または「しあわせの村」日本庭園茶室で稽古を行っています。

ぜひ、稽古の様子を見がてら、お茶を飲みにお越しください。

連絡先：上羽良信（29期健康）

携帯：080-1332-4523

E-mail：yoshiweber70@gmail.com

◆ 有機農法を考える会（環境部会）

米井 陽

シルバーカレッジの農園で、現役の有機野菜をつくる会の皆さんと一緒に有機野菜をつくっています。最も重要なのが土壌作りで、目指すは雑木林の土です。勿論化学肥料などは使わず、自前でEMボカシ肥料をつくり使用しています。

EMとは、Effective(有用) Microorganisms（微生物群）の略の微生物資材で、このEMボカシ肥料が我々のクラブの売りです。一般向けにも販売していますので希望の方はお声がけ下さい。

また腐葉土も落ち葉を会員が手分けして集め、腐葉土をつくっています。



腐葉土づくり



EMボカシ肥料づくり

◆ すみれ〈フォークダンス〉（いきがい部会）

大林 恵子

すみれ（フォークダンス）は、1993年に創設されたKSCフォークダンスクラブを母体として、脈々と現在まで活動を継続しており、全員グループわの会員です。



ダンスを通して体を動かすことが好きなメンバーの最高齢は



90歳で、80歳代が1/4を占めますが、スクエアダンスのフォーメーションや振り付けを必死に覚え、体と脳の若さ維持に役立てています。グループわの交歓会や施設へのボランティアで日頃の練習成果を披露しています。

◆ みんなの食堂「なかみちこみち」（福祉部会）

島村 千恵子

今年7月に満8年を迎えました。シルバーカレッジ（健福21期）で、子どもの貧困をテーマにグループ学習、卒業と同時に仲間と共に「なかみち・こみち」を立ち上げました。



「みんなの食堂」は、第1、第3土曜日に開催。第1金曜日は「ふれあい喫茶」を早朝より開催、地域交流の場になっています。



「みんなの食堂」は児童館の子どもたちへの朝食のサービスから始まり、10時から小学生対象の英語学習。11時半ごろからはアトラクション、

毎回工夫しながら子ども参加型のイベントをしています。後半はお楽しみのランチタイム。いつも料理は好評で、子どもたちや、地域の高齢者に喜ばれています。

100食近い食事の調理やアトラクションなど、30名前後のスタッフで運営しています。

混沌とした世の中で、ご飯が食べられない子どもたちが居るのも現実です。いつも、建学の精神を胸にシルバーカレッジ出身の仲間と共に、当面十周年を目指して頑張っています。

◆ KSC 手話ソング同好会（文化部会）

谷口 文子

8月26日メープルホームを友愛訪問しました。

訪問先では、先ず指の体操、そのあと手話ソングを行います。できるだけ見て



もらうだけでなく、一緒に指を動かしてもらいたいのので、音楽に合わせて手話で歌を表現することを説明し、そして体験してもらいます。



そのため、親しみやすい童謡、唱歌、歌謡曲を季節に合わせ選曲しています。

毎回最後にする「ふるさと」は、歌あり、手話ありで、手話ソングの楽しさを共有し、その場がひとつになることを実感します。

◆ 太極拳ゆったり体操（いきがい部会）

岸野 清美

太極拳は全身を無理なくバランスよくゆっくり動かすことから、高齢者にはもっとも適した運動の一つであると言われています。



太極拳の動きをもとにした「太極拳ゆったり体操」は、転ばない身体つくりのために、高齢者の介護予防のために考案されたものです。現在高齢者施設訪問と医療補助の訪問を月1回行かせていただいています。単発で老人会や地域の催しにも参加しています。

4年前から地域交流も兼ねて名谷駅前広場で地域の方を中心に健康体操を毎土曜日開催し



ています（雨天、熱中症警戒アラートの時は中止）。

部員10名弱と名谷駅周辺の方50名近くが、10時から約45分間体を動かしています。

太極拳の経験のない方も健康体操がメインですから是非お気軽に参加してください。



区会活動報告

◆ 須磨区「交流の集い」

須磨区会 梶山 耿

6月21日に開催した「須磨区会交流の集い」について報告いたします。

当該行事の目的は、会員のみなさまがお互いの顔を見ながら話し合っ、仲良くなっただくことです。

今回の目玉は、出席者がグループ毎に分かれ、各グループに運営委員1名が進行役として参加する形で、任意のテーマをフリーにしゃべり合っ、話題を共有する場を持つということでした。

引き続き皆さま方のご支援をよろしくお願いいたします。



◆ 夏休み作品展

9月13日から10月7日まで、神戸市小学校・中学校の夏休み作品展が開催され、グループわ は会場の受付などのボランティア活動を行ないました。



小学校(理科・生活作品展)と中学校(技術家庭科・理科作品展)は、ポートアイランドの「バンドー神戸青少年科学館」で、また小学校(社会科作品展)は元神戸市立吾妻小学校を活用した「コミスタこうべ」でそれぞれ開催されました。

期間中は多くの小中学生と保護者が訪れ、生徒たちの努力作品に足を止めていました。

2つの会場で13,840人の来場者があり、この作品展の受付等に延べ103人にのぼるグループわ の会員のみなさまの支援をいただきました。ご協力ありがとうございました。



学校園・学習支援

◆ 学習支援・学校園ボランティア 1 学期活動報告

夏休休校期間中(8月8日～17日)、幼稚園および小学校においてボランティア活動を行いました。

主な内容は、飼育しているウサギやリスなどの小動物へのエサや水の補給、糞の処理、畑や植物への水やりです。動物の世話および水やりは3日に一度で行い、特に夏の暑さの中でも動物が元気に過ごせるよう注意を払いながら取り組みました。

また、畑や花壇の水やりは連日の猛暑の影響で土がすぐに乾いてしまうため、しっかりと時間をかけて行いました。子どもたちが新学期に元気な動物や青々とした植物と再会できるよう心を込めて活動しました。短い期間ではありましたが、日々の小さな積み重ねが大切であることを実感し、学校の生活環境を支える役割を担えたことに大きなやりがいを感じました。



バンドー神戸青少年科学館
市内小学校理科・生活作品展の様子

◆ わだより ◆

■ しあわせの村まつり

9月14日、しあわせの村まつりに参加しました。



グループわ は、昨年に引き続き「ヨーヨー祭り」を出店し、夕方の5時から8時前まで夜の短い時間でしたが、延べ300人の子どもたちがヨーヨー祭りを楽しみました。

■ わくわくひろば(あいな里山公園)

10月5日、あいな里山公園（農村舞台・農家のにわ）で小学生対象の「わくわくひろば」を開催しました。



あいにく雨模様でしたが、33人の児童が訪れグループメンバーの「ハロウィンファッションショー・こま回し・けん玉・折り紙・バルーンアート・

シャボン玉・つりあそび」など熱のこもった演出や出し物で雨空を吹き飛ばしました。

■ 第30回学園祭に出展

神戸市シルバーカレッジ第30回学園祭が開催され、グループわ は1階ふれあいホールと2階本部前でわ の紹介と日頃の活動を紹介するポスターと作品展示を行ないました。

■ 第3回「親子で集まれ自然遊び塾・カブトムシ観察会」

日時：10月25日(土) 午前10時～12時

場所：しあわせの村 里山（神戸市北区）

第3回は、カブトムシの冬眠前の幼虫観察・産卵場づくりと一緒に体験し、また小枝でつくるカブトムシにも挑戦してもらいます。

〈応募・申込条件〉

応募締め切り：2025年10月17日(金)24時

応募抽選：20家族/1家族での申込は、小学生の児童2名まで

抽選結果：後日メールにてお知らせいたします

保護者同伴：参加には保護者の同伴が条件/1家族の保護者は2名まで

参加費：無料

参加応募は下記URLから

<https://www.wa-net.jp/event/kansatsu/>

◆ カレッジだより ◆

■ オープンキャンパスのご案内

開催日：11月10日(月)、11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)

開催時間：13：00～16：00

受付時間：12：30～14：00

※参加はいずれも「参加自由・事前申込不要」です。

■ 学校説明会

開催日：令和8年1月20日(火)、21日(水)、22日(木)

開催時間：①10：00～12：00 ②13：00～15：00

■ 令和8年度学生募集について(予定)

出願期間：令和8年1月19日(月)～1月30日(金)

募集コース：健康ライフコース 国際交流・協力コース

ECOライフコース 総合芸術コース（美術・工芸専攻、音楽文化専攻、園芸専攻、食文化専攻）

応募方法：募集要項（入学願書）を11月中旬からシルバーカレッジ、区役所、区文化センターなどで配布します。

■ ジョイラックデー

令和8年1月14日（水）ジョイラックデーを開催します、

毎月17日を「自主的にボランティア活動をおこなう日」と定め、その日が「楽しい（JOY） 幸福な（LUCK） 日（DAY）」でありたいとの思いから「ジョイラックデー（JOY LUCK DAY）」と名付けられました。現在年に1回、各地域交流グループが企画立案し、グループでの交流・社会貢献活動を行う日として設けています。

編集後記

朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。

ぎゅらりーわ 10月号では、グループわ の活動や会員の皆さまの近況と、シルバーカレッジ事務局からの皆さまに情報をお届けしましたがいかがでしたでしょうか。

小さな取り組みや一人ひとりの思いが集まり、大きな輪となっていくことを改めて感じています。

次号も皆さまに楽しんでいただける紙面づくりを心がけてまいります。どうぞご期待ください。